



日立東大ラボ
第3回 ハビタット・イノベーションフォーラム

人中心の スマートシティの構築へ

持続可能なスマートシティに向けた
5つのキーファクター

2021年10月4日(月) 13:00～17:50

オンライン開催

<http://www.ht-lab.ducr.u-tokyo.ac.jp/2021/07/19/news028/>

OBJECTIVES

開催趣旨

人間中心の超スマート社会として“Society 5.0”がわが国の第5期科学技術基本計画にて提唱されてから5年を経たいま、日本国内のみならず、欧米、アジアなど世界の各地域において、グリーンフィールドから未来都市を創り上げるものや既存の都市をスマート化するものなど、様々なタイプのスマートシティの実装が進み、スマートシティは新たな段階に進みつつあります。

ただ、世界各地の都市で実装が増える中、果たして人中心のスマートシティづくりは進んでいるのでしょうか。自治体や民間企業にとって、人中心で持続可能なスマートシティとは、どのようにしてデザインし、構築していけばよいのでしょうか。実装が進む中、そうした課題が改めて問われていることを踏まえ、日立東大ラボでは、提言書「持続可能なスマートシティの実現に向けた提言－5つのキーファクターと国による15の支援策の提案－」により、スマートシティの導入によって地域が価値を高めるために何が必要かを提言しました。

本フォーラムは、わが国がめざす“Society 5.0”の考え方に基づく人中心のスマートシティを地域自らがデザインし、実装する上で重要なキーファクターについて掘り下げると共に、スマートシティの評価や担い手の人材育成の方策といった重点課題にスポットをあて、関連する産学官のステークホルダーと議論し、提言の主旨を共有することを目的に開催いたします。

OVERVIEW

概要

時期：2021年10月4日(月) 13:00～17:50

場所：オンライン開催

主催：日立東大ラボ

PROGRAM 13:00-17:50

プログラム

※プログラムは予告なく変更される場合があります。

【司会】 松岡 秀行 | 日立製作所 研究開発グループ 主管研究長 兼 日立東大ラボ長

開会挨拶 (13:00-13:15)

小島 啓二 | 日立製作所 代表執行役 執行役社長 兼 COO

相原 博昭 | 東京大学 理事・副学長

【ビデオメッセージ】 山室 芳剛氏 | 世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター長

第 1 部

基調講演 (13:15-13:55)

「これからのスマートシティを考える」

柳川 範之氏 | 東京大学 大学院経済学研究科 教授

「つくばスーパーサイエンスシティへの挑戦の取り組み」

鈴木 健嗣氏 | 筑波大学 システム 情報系 教授・つくば市顧問(スマートシティ担当)

ハビタット・イノベーションプロジェクトからの報告 (13:55-15:15)

「人中心の持続可能なスマートシティ実装へ向けて～日立東大ラボからの提言～」

出口 敦 | 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 研究科長・教授

【ビデオメッセージ】「Data Technology and Urban Design: How to Make Bangkok More Walkable」

Niramon Serisakul | Director, Urban Design and Development Center (UddC);

Assistant Professor, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand

「2050年のめざすべき国土構造」

古屋 聡一 | 日立製作所 研究開発グループ 社会システムイノベーションセンタ 主管研究員

「人中心のスマートシティの評価と QoL」

笹尾 知世 | 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 特任助教

「データを活用した人に寄り添うスマートエイジングの取り組み」

直野 健 | 日立製作所 研究開発グループ デジタルプラットフォームイノベーションセンタ 主管研究員

質疑応答

休憩 (15:15-15:30)

PROGRAM

第2部 パネルディスカッション

1)「人中心のスマートシティの評価の方法と課題」(15:30-16:30)

ファシリテーター：

尾崎 信 | 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 特任研究員

鈴木 敬 | 日立製作所 研究開発グループ 脱炭素エネルギーイノベーションセンタ 環境システム研究部 主管研究員

パネリスト：

倉谷 英和氏 | 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 企画官

東浦 亮典氏 | 東急株式会社 執行役員 フューチャー・デザイン・ラボ管掌

南雲 岳彦氏 | 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 専務理事

唐沢 かおり | 東京大学 大学院人文社会系研究科 教授

笹尾 知世 | 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 特任助教

小休憩 (16:30-16:35)

2)「持続可能なスマートシティづくりを担う人財育成」(16:35-17:35)

ファシリテーター：

出口 敦 | 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 研究科長・教授

古谷 純 | 日立製作所 東京社会イノベーション協創センタ デザイナ / 松山アーバンデザインセンター プロジェクトディレクタ

パネリスト：

鈴木 健嗣氏 | 筑波大学 システム情報系 教授・つくば市顧問(スマートシティ担当)

日野 敏幸氏 | 三井不動産株式会社 S&E 総合研究所 所長

弘中 秀治氏 | 宇部市 商工水産部 成長産業創出課 主幹

大隅 英貴 | 日立製作所 ライフ事業統括本部 デジタルフロント事業部 事業部長

鹿志村 香 | 日立製作所 専門理事 未来投資本部 エイジングノサエティブロジェクトプロジェクトリーダー 兼 研究開発グループ 技師長

まとめ (17:35-17:40)

出口 敦 | 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 研究科長・教授

閉会挨拶 (17:40-17:50)

吉村 忍 | 東京大学 副学長・大学院工学系研究科 教授・日立東大ラボ長

鈴木 教洋 | 日立製作所 執行役常務 CTO 兼 研究開発グループ長 兼 コーポレートベンチャリング室長

PROFILE

登壇者プロフィール



小島 啓二 | Kojima Keiji

日立製作所 代表執行役 執行役社長兼 COO

1982年 京都大学大学院理学研究科卒業後、(株)日立製作所に入社。中央研究所にてコンピューターアーキテクチャの研究開発に従事後、システム開発研究所情報サービス研究センタ長、中央研究所長、日立研究所長を歴任。2012年 執行役常務、2014年 執行役常務 CTO、2016年 執行役専務 サービス&プラットフォームビジネスユニット CEO を経て、2018年より執行役副社長としてヘルスケア事業や生活・エコシステム事業、オートモティブシステム事業等を管掌。2021年より現職。博士(情報科学)。



相原 博昭 | Aihara Hiroaki

東京大学 理事・副学長

1978年 東京大学理学部卒業、1980年 同大学院理学系研究科修士課程修了。1984年 理学博士(東京大学)。専門は高エネルギー素粒子物理学。1984年 東京大学理学部助手、1991年 カリフォルニア大学ローレンスバークレー研究所物理部助教授、2003年 東京大学大学院理学系研究科教授、2012年同研究科長を経て、2021年4月より現職。著書に『素粒子の物理』(東京大学出版会、2006年)がある。



山室 芳剛 | Yamamuro Yoshitake

世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター長

2006年経済産業省に入省。法人税制やグリーン産業政策・デジタル産業政策を担当した後、アジア戦略を担当したバンコク駐在を経て、2019年より大臣官房アジア新産業共創政策室長としてアジア地域における日本企業のデジタル・トランスフォーメーションを推進。2021年7月より、世界経済フォーラム 経済産業省、アジア・パシフィック・イニシアティブの3者により設立された世界経済フォーラム第四次産業革命日本センターのセンター長に就任。国際機関のネットワークを活用しながら、データ政策、ヘルスケア、スマートシティ、モビリティ、アジャイルガバナンスなど多様な国際プロジェクトを率いる。東京大学卒、タフツ大学院フレッチャースクール国際関係学修士、ハーバード大学院ケネディスクール行政学修士。



柳川 範之 | Yanagawa Noriyuki

東京大学 大学院経済学研究科 教授

中学卒業後、父親の海外勤務の都合でブラジルへ。ブラジルでは高校にいかず独学生活を送る。大検を受けたのち慶應義塾大学経済学部通信教育課程入学。同課程卒業後、1993年 東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士(東京大学)。慶應義塾大学専任講師、東京大学助教授等を経て、2011年より現職。内閣府経済財政諮問会議民間議員、東京大学不動産イノベーション研究センター長、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート代表理事等。



鈴木 健嗣 | Suzuki Kenji

筑波大学 システム情報系 教授・つくば市顧問(スマートシティ担当)

筑波大学システム情報系教授。サイバニクス研究センター長、附属病院未来医工融合研究センター副部長。2021年 つくば市顧問、アーキテクトとしてスーパーシティ / スマートシティ業務に従事。1997年 早稲田大学理工学部物理学科卒業。早稲田大学助手、筑波大学講師、准教授を経て現在に至る。博士(工学)。1997年 イジェノヴァ大学、2009年 仏 College de France 客員研究員。人工知能、サイバニクス、人支援ロボティクス、発達支援研究を通じ、人の知能に応じた機械の知能と機能の融合に興味を持つ。



出口 敦 | Deguchi Atsushi

東京大学 大学院新領域創成科学研究科 研究科長・教授

1961年 東京都出身。1990年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了(工学博士)。東京大学助手、九州大学助教授、教授を経て、2011年より東京大学教授。2020年6月より公益社団法人日本都市計画学会 会長。2015年度、2016年度 日本都市計画学会石川賞受賞。専門分野は都市計画学、都市デザイン学。著書は、「ストリートデザイン・マネジメント」(編著、学芸出版社)、「都市計画の構造転換」(編著、鹿島出版会)など多数。2017年4月より日立東ラボ ハビタット・イノベーション プロジェクトリーダー。

PROFILE



Niramon Serisakul

Director, Urban Design and Development Center (UddC); Assistant Professor, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand

She received her B. Arch (Hons.) from Chulalongkorn University and MA and D. Eng. in Urban Engineering from the University of Tokyo. Since 2005, she has taught urban design at Chulalongkorn University. In 2013, she became a co-founder and director of the Urban Design and Development Center. In 2016, Niramon was invited as a Fellow of the Collegium de Lyon, and an associate researcher in Institute for East Asian Studies (IAO), in ENS de Lyon and RIVES, in Ecole nationale des travaux publics de l'État (ENTPE), France. And year 2017, she became an invited professor at the Science Po de Lyon, France. She is also a Smart City Committee of Bangkok Metropolitan Administration, and a Vice President of a Sustainable Agriculture Committee, Ministry of Agriculture.



古屋 聡一 | Furuya Soichi

日立製作所 研究開発グループ 社会システムイノベーションセンタ 主管研究員

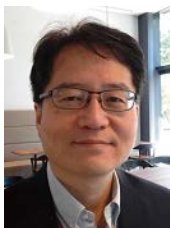
1997年 九州大学大学院システム情報科学研究科修了。同年（株）日立製作所システム開発研究所入社。1998年 ケンブリッジ大客員研究員。2004年 九州大学大学院システム情報科学研究科博士後期課程（工学）。2013年 日立ヨーロッパR&D、2018年 日立アメリカR&D、主任研究員。同年 世界経済フォーラム第四次産業革命センター フェロー。2020年より現職。電子情報通信学会会員、情報処理学会会員。



笹尾 知世 | Sasao Tomoyo

東京大学 大学院新領域創成科学研究科 特任助教

2011年 首都大学東京・都市環境・建築都市コース卒業。2016年 東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻博士課程修了。博士（環境学）。2015年より日本学術振興会特別研究員（DC2・PD）。2017年 徳島大学地域共創センター助教。2020年より現職。東京大学空間情報科学研究センター客員研究員。専門はアーバンコンピューティング。特に都市デザイン・まちづくりのための参加型デザイン支援システムに関する研究を行う。



直野 健 | Naono Ken

日立製作所 研究開発グループ デジタルプラットフォームイノベーションセンタ 主管研究員

1994年 京都大学大学院理学研究科修士課程修了。同年（株）日立製作所入社。以降、同社中央研究所にてスーパーコンピュータ向け行列計算ライブラリの研究開発、ソフトウェア自動チューニング技術の研究開発等に従事。2017年 同社研究開発グループ・ヘルスケアイノベーションセンタ主管研究員に着任、米国医療機関との共同研究プロジェクトを推進し、根拠を説明できるAIシステムの開発に従事。2020年4月より現職。博士（工学）。



尾崎 信 | Osaki Shin

東京大学 大学院新領域創成科学研究科 特任研究員

2005年 東京大学大学院工学系研究科修了。都市計画コンサルタント、東京大学景観研究室助教、UDCMディレクターなどを経て、2020年4月より現職。専門は都市・地域計画、景観学。工学博士。



鈴木 敬 | Suzuki Kei

日立製作所 研究開発グループ 脱炭素エネルギーイノベーションセンタ 環境システム研究部 主管研究員

1989年 早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了。同年（株）日立製作所に入社。以来、LSI設計手法、センサネットワーク、ビッグデータ解析と活用、社会システム等の研究に従事。工学博士。

PROFILE



倉谷 英和 | Kuraya Hidekazu

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 企画官

1995年 環境庁(現 環境省)入庁。環境省水・大気環境局ダイオキシン対策室(併)大気環境課、廃棄物・リサイクル対策部浄化槽推進室等を経て、2014年 国土交通省自動車局環境政策課地球温暖化対策室長。2016年 北海道大学公共政策大学院教授。2019年 環境省地球環境局地球温暖化対策課フロン対策室長(併)低炭素物流推進室長。2020年 現職。



東浦 亮典 | Toura Ryosuke

東急株式会社 沿線生活創造事業ユニット フューチャー・デザイン・ラボ管掌 執行役員

1985年 東京急行電鉄株式会社(現 東急株式会社)入社。自由が丘駅員、大井町線車掌研修を経て都市開発部門に配属。一時東急総合研究所出向を経て、復職後戦略事業部長、運営事業部長、渋谷開発事業部長などを歴任。現在は沿線生活創造事業ユニットおよびフューチャーデザインラボを管掌。著書「私鉄3.0」(ワニブックスPLUS新書)など。



南雲 岳彦 | Nagumo Takehiko

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 専務理事

地球環境と市民が共存し、誰もが幸福になれるグリーン&デジタルなまちづくりに従事。一般社団法人スマートシティ・インスティテュート理事、三菱 UFJリサーチ コンサルティング株式会社専務執行役員、内閣府規制改革推進会議委員、東京データプラットフォーム協議会委員、IPA デジタルアーキテクチャ・デザインセンター・アドバイザーボードメンバー、世界経済フォーラム C4IR フェロー、京都大学経営管理大学院客員教授、タリン工科大学客員教授等を兼任。



唐沢 かおり | Karasawa Kaori

東京大学 大学院人文社会系研究科 教授

京都府生まれ。京都大学大学院文学研究科(心理学専攻)在籍中にUCLAに留学。1992年 Ph.D. 取得 (Social Psychology)。その後、日本福祉大学情報社会科学部助教授、名古屋大学大学院環境学研究科助教授などを経て、2006年10月より東京大学大学院人文社会系研究科助教授、2010年8月 人文社会系研究科教授。専門は社会心理学、特に社会的認知過程や道徳的判断。



古谷 純 | Furuya Jun

日立製作所 東京社会イノベーション協創センタ デザイナ 兼 松山アーバンデザインセンター プロジェクトディレクター

1983年 早稲田大学機械工学科卒。(株)日立製作所家電研究所入社。AV機器および金融端末のデザインを経て、サービスデザイン主管デザイナを担当。2017年より日立東大ラボにてデータ駆動型都市プランニングの松山スマートシティ実証を推進。2018年から愛媛大学客員教授および松山アーバンデザインセンターを兼務。



日野 敏幸 | Hino Toshiyuki

三井不動産株式会社 S&E 総合研究所 所長

1988年 東京大学法学部卒業後、三井不動産株式会社に入社。1997年 米国マサチューセッツ工科大学経営大学院修了。汐留事業室、米国現地法人出向、人事部、海外事業本部を経て、現職。三井不動産東大ラボのメンバーも兼務。S&E 総合研究所は、「未来」「街づくり」「地域活性化」「医療・健康」などのテーマに関する調査研究を行うとともに、同社グループの個別事業の推進や街づくりの取組みをサポートする同社のシンクタンク。



弘中 秀治 | Hironaka Shuji

宇部市 商工水産部 成長産業創出課 主幹

宇部市職員として、1996年 防災危機管理課への異動を機に気象予報士となり17年在籍。現在も、各地の災害ボランティア等の支援活動を実施。2019年からスタートアップ、スマートシティ宇部プロジェクトを担当するとともに、2021年からは「ときわ公園実証フィールド活用プロジェクトチーム」にも選任されている。2021年6月 気象庁発行の「気象業務はいま 2021」コラム「市町村における気象予報士の広範な活動について ～防災業務・スマートシティ～」執筆。

PROFILE



大隅 英貴 | Osumi Hideki

日立製作所 ライフ事業統括本部 デジタルフロント事業部 事業部長

東北大学大学院工学研究科修了後、1996年（株）日立製作所大みか事業所入社。運行管理システムや鉄道輸送管理システムの開発を担当。2006年 サンダーバード国際経営大学院（米国）にてMBA（経営学修士）取得後、日立コンサルティング（米国）やアーバンソリューションビジネスユニットにてビルソリューション事業立ち上げに従事。2019年4月よりデジタルを活用したライフソリューション事業を推進。電気学会会員。技術士（情報工学）取得。



鹿志村 香 | Kashimura Kaori

日立製作所 専門理事 未来投資本部 エイジングソサエティプロジェクトプロジェクトリーダー 兼 研究開発グループ 技師長

1990年（株）日立製作所入社、デザイン研究所配属。エスノグラフィなどのユーザーリサーチ手法による製品・サービスのユーザビリティおよびユーザエクスペリエンス向上の研究に従事。デザイン本部長、東京社会イノベーション協創センタ長、日立グローバルライフソリューションズ株式会社取締役を経て、2020年4月より現職。



吉村 忍 | Yoshimura Shinobu

東京大学 副学長・大学院工学系研究科 教授・日立東大ラボ長

1987年 東京大学大学院工学系研究科修了、工学博士。1987年 東京大学工学部講師、助教授、新領域創成科学研究科教授を経て2005年より工学系研究科教授、2009年 総長補佐、広報室長、工学系研究科副研究科長、教育研究評議員を経て、2017年より現職。2019年4月より日立東大ラボ長。

専門は計算力学、システムデザイン学。現在 国際計算力学連合（IACM）副会長、アジア太平洋計算力学連合（APACM）会長、日本学術会議会員・第三部部長等。IACMフェロー賞（2014）、APACM計算力学賞（2013）等受賞。



鈴木 教洋 | Suzuki Norihiro

日立製作所 執行役常務 CTO 兼 研究開発グループ長 兼 コーポレートベンチャリング室長

1986年 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、（株）日立製作所入社。デジタル画像信号処理、組込みシステムなどの研究開発に従事後、2012年 日立アメリカ社シニアヴァイスプレジデント兼 CTO、2014年 中央研究所長、2015年 研究開発グループ社会イノベーション協創統括本部長、2016年 執行役常務 CTO 兼 研究開発グループ長、2019年より現職。工学博士。



松岡 秀行 | Matsuoka Hideyuki

日立製作所 研究開発グループ 主管研究長 兼 日立東大ラボ長

1987年 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻修士課程修了後、（株）日立製作所に入社。中央研究所にて半導体デバイスの研究開発に従事。2004年 同所 ULSI 研究部部長、2005年 基礎研究所ナノ材料デバイスラボ ラボ長、2011年 日立金属株式会社磁性材料研究所所長を歴任。2013年からは研究開発グループ主管研究長を務めており、2016年より現職。理学博士。